

幸せ、きれいなものを見る事の出来る幸せ、きれいな音楽や音、声が聞こえる幸せ、家族がいる幸せ、友達がいる幸せ等々、ごく当たり前前に思えていることが、実はとても幸せなことなのですね。当たり前前のことが当たり前前に出来ている自分の環境に幸せを感じる心が実は大切なのだと思います。そして、私たちの心は、自分自身に与えられたものに感謝し、また人を思いやり、人に尽くそうとするときこそ、生き生きとはたらくものだと思います。その心のはたらきが、私たちの心の中の「幸せスイッチ」をオンにする力になるのですね。

縦割り活動はやっぱり楽しいね



今回の縦割り活動は、仲間づくりゲームを通して、仲間意識を高め、子ども同士のつながり

がより深められるようにと考えました。

ソーシャル・スキル・トレーニングの本のなかから、一人ひとりを大切にする人権的な意識が高められるゲームをしました。表情伝言ゲームでは、顔の表情を描いたカードを用いて言葉を交わさずにお題の表情を伝えていくのです。次の聖徳太子ゲームは四文字の言葉を決め、それぞれのグループに割り当てられた文字を一斉に言うことで、四文字の言葉をあてるということです。さらに、チームの仲間の名前と顔を覚える名前ビンゴゲーム、自分と他の人の違いや共通点を発見する春夏秋冬ゲームもありました。高学年のリーダーのもと、笑いの絶えない楽しい交流ができました。仲間っていいな。友達っていいな。

